

グローバル化と途上国の生産者

こんな問題に取り組んでいます

グローバル化の進む昨今、アフリカでも所得レベルの向上が見られ、これまで存在しなかった中間層が生まれています。中でも注目を集めるのは野菜や果物、花卉などの付加価値の高い園芸産業です。しかし園芸産業の発展が、実際に現地の誰にどのような影響を及ぼしているのかは不明瞭です。そこで、グローバル化の途上国生産者への影響を主に研究しています。

こんなことがわかってきました

大規模栽培、小規模栽培のそれぞれに適する作物があります。先進国市場の食品安全規制が年々強化される中、取引費用を軽減するために多くの国で生産体制の大規模化が進み、零細農家は退出しています。一方で、国内の加工産業の発展は零細農家の活躍の場を増やしています。

研究の成果はこんな分野に活かされます

産業発展を支援するためには、それぞれの産業の特徴を詳細にとらえることが重要です。研究成果は研究対象国の政府機関や日本の援助機関などにも提出し、有効な政策に反映されるよう心がけています。

連絡先： 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 国際協力学専攻
鈴木 綾 <ayaszk@k.u-tokyo.ac.jp>



ガーナのパイナップル産業



エチオピアの切り花産業